

基礎から学べるオカリナ教室 やさしい音色にいやされて



基本をしっかり教わることで曲を演奏できるまでに上達した皆さん。オカリナの魅力を満喫しました

2月6日、交流センター「ふれ愛館」で、生涯学習事業「オカリナ教室」を開きました。講師は、生涯学習課の職員・大森真が務めました。木管楽器に分類されるオカリナは、手に持ち息を吹き込んで演奏する笛で、素朴で温かな音色が魅力です。教室では、吹き方や指使いなどを、基本から丁寧に練習。全員で「キラキラ星」「春の小川」など全4曲を演奏できるまで上達しました。演奏の楽しさを味わった参加者からは「また開催してほしい」と期待の声が上がっていました。

体をポカポカ温める 薬膳料理はいかがでしょう



「薬膳」の考え方を基に食と健康の関わりや食材の大切さについて講義する宮川先生（前方中央）

1月25日、交流センター「ふれ愛館」で、自主文化事業「目からウロコの薬膳教室」が開かれました。講師には、東京大学附属病院の宮川隆助教を招きました。宮川先生には、「身体を冷やす食材と温める食材とは!？」と題した漢方講座で、「薬膳」の考え方や、体を温める食材について話していただきました。参加者の皆さんは、メモを取るなどして、熱心に聴講しました。さらには体を温める料理の一例として、岐阜県の郷土料理「鶏（けい）ちゃん」などを皆で味わい学びを深めました。

吉川市に招かれ 菅野村長が一日市長に



中原市長(左)と対談する形で講演。多くの市民が耳を傾けました

2月16日、菅野村長が、埼玉県吉川市で一日市長を務めました。これは、応援職員の派遣などで支援をいただいている同市の招きに応じたもので、菅野村長は、一日市長として、市内の視察や市民との交流に臨みました。任命式は、商業施設「イオンタウン吉川美南」の特設会場で行われ、菅野市長(村長)は、多くの市民を前に講演。村の復興状況を伝え、同市の支援に感謝を伝えました。また、同会場では、吉川市の職員の皆さんが、村の物産の販売も行ってくださいました。

こんな時間もいいですね 「男性のつどいinいいいて」



工具を用いて鯉をモチーフにした木工細工を作って楽しみました

1月29日、交流センター「ふれ愛館」で、第3回「男性のつどいinいいいて」を開催しました。参加者の5人の男性は、前回に続いての連続参加。顔なじみとなり、自然に会話がはずんでいました。キッチンスタジオでの調理も手際よくスムーズに。昼食の席では、若い頃の体験談や、地域の話に花を咲かせ、協力してつくった鍋料理を味わいました。食事の後には、木工作業を一緒に体験。個性あふれる作品が完成し、参加者同士が出来映えを見せ合い、楽しんでいました。

内堀雅雄福島県知事が来村 村内の新たな動きにも注目



花農家、看護師、地域おこし協力隊、デザイナー、鍛冶職人として村で活躍する皆さんと懇談しました

2月19日、内堀雅雄福島県知事が村を訪れ、菅野村長、遠藤教育長らと意見交換を行いました。また、新たな仕事おこしに取り組む事業所などを視察し、昨年開所した「やすらぎ工房」飯館工場のギャラリーでは、村内で起業した人など多彩なメンバーと懇談しました。一人ひとりの取り組みに耳を傾けた内堀知事は、「村をよく知る住民と、第三者の目を持ってこの地に来た人の力が合わさることで、村独自の新しい魅力が生まれてくるのではないのでしょうか」と期待を伝えていました。

大切な文化財を火事から守る 「文化財防火デー」防火訓練



今年は雪も氷もない青空の下での訓練となりました。神社の駐車場から境内の林に向け放水訓練

文化庁・消防庁は、1月26日の「文化財防火デー」を中心に、文化財の防火運動を、全国で進めています。村も毎年、この運動に取り組んでおり、今年は2月1日に、佐須地区の山津見神社で、防火訓練を行いました。訓練には、神社と村消防団の他、村文化財保護審議会、南相馬消防署飯館分署、役場消防隊、村教育委員会などが参加。火災の発生を想定し、貴重な文化財の持ち出し訓練、放水訓練、初期消火訓練などを行いました。